

E 研究・研修

提言内容

学校の教育力を高める校内研究・研修体制に関する提言

分科会の趣旨

現代社会においては、急速な国際化の進展に伴い、地球規模での相互連携の必要性が一層高まっている。また、国際的な視野に立ち、民族・文化への多様性に対する理解や適応力をもち、国際社会の中で自分の考えや意志を適切に発信し、他者と協働し、能力を発揮できる人間が求められている。そのため、これからの学校では、子どもたちに多面的に思考するための発想力や創造性を身に付けさせていかなければならない。

こうした資質・能力をもつ子どもたちを育成するためには、確かな指導力を発揮する教職員に支えられた学校づくりが求められる。教職員は、社会からの要請や教育界の動向を踏まえた上で、学校経営への強い参画意識をもち、自己の資質・能力を高め職務に生かしていかなければならない。

校長には、教職員の参画意識を高め、資質・能力の向上を図る研究・研修を強力に推進することが求められている。そのために、自ら研鑽し、確かな先見性や洞察力を身に付けていく必要がある。そして、教職員の個々の特性と力量を見極めるとともに、子どもたちや保護者、地域のニーズを的確に把握し、自校の課題を明らかにしなければならない。

そこで、本分科会では、教職員の資質・能力と学校の課題解決に向けた学校経営参画意識を高めるなど、学校の教育力を向上させる校内研究・研修体制の確立と推進について、具体的な方策を明らかにし、提言する。

分散会の視点

第9分散会

教職員の資質・能力の向上を目指した校内研究・研修体制の充実

学校の教育力を高めるためには、教職員個々の指導力の向上と、教育目標の実現に向けて協働できる教職員組織の構築が不可欠である。そのために、校長は、教職員個々の課題と学校の課題を明確にし、展望をもって解決できる教職員の育成を図らなければならない。

育成の中核となるのが校内研究・研修である。教職員相互に切磋琢磨し学び合っていくことが、指導力の向上や磨き合う教職員組織の構築につながっていく。そして、絶えず実践の中から成果と課題を検証し、改善していく体制を整えていくことが必要である。

本分散会では、教職員の資質・能力を高め、学校の教育力の向上を図る校内研究・研修体制について協議を深め、校長の役割と指導性を究明する。

第10分散会

自らのキャリアステージに応じた学校経営への参画を促す研修の推進

教職員の世代交代が進行し、経験の浅い教員が急速に増えてきている今、優れた指導力や使命感を兼ね備えた教職員の育成は急務である。これまでも、各学校では、研修・研究やOJT等を行い、指導力向上を図ってきたが、教職員個々の経験や分掌を踏まえた意図的・計画的な人材育成に十分つながったとは言えない。

そこで校長には、教職員のキャリアステージに応じた実効性の高い研修の実現が求められる。そして、研修の成果を生かしながら、教職員に学校経営への強い参画意識をもたせていくことが必要である。

本分散会では、教職員にキャリアステージに応じた学校経営への参画を促す研修について協議を深め、校長の役割と指導性を究明する。